

マイボーム腺機能不全患者において涙液水層は補償的に増加する（多施設横断研究）

Increased tear fluid production as a compensatory response to meibomian gland loss: A multi-center, cross-sectional study

MGD では補償的に涙液が増加する

有田玲子（LIME 研究会、伊藤医院）、森重直行（LIME 研究会、山口大）、高静花（LIME 研究会、大阪大）、白川理香（LIME 研究会、東京大）、川島素子（LIME 研究会、慶應大）、崎元暢（LIME 研究会、日本大板橋）、鈴木崇（LIME 研究会、愛媛大）、坪田一男（慶應大）

目的：ドライアイは、液層分泌の低下をきたす涙液低下型ドライアイ（ADDE）と MGD を中心とする蒸発亢進型ドライアイに分けられるが、これらの病態の違いによる臨床所見の詳細な検討はなされていない。今回、ADDE と MGD を有する患者群の臨床所見を比較検討する。

方法：対象は全身疾患を有さない女性。臨床所見（問診、眼瞼縁異常所見、マイボーム腺消失面積（マイボスコア）、マイボーム腺分泌脂グレード、角結膜上皮障害、涙液層破壊時間（BUT）、シルマー試験をもとにシェーグレン症候群を除外した涙液減少ドライアイ（non-SS ADDE 群）41 例、閉塞性 MGD（MGD 群）70 例、正常群 70 例、MGD 合併 ADDE 群 17 例に分類した。臨床所見を 4 群で比較検討した。

結果：Non-SS ADDE 群は MGD 群に比べ角結膜上皮障害スコアが有意に高く、BUT、シルマー値が有意に低下していた（全て $P<0.001$ ）。MGD 群は non-SS ADDE 群に比べマイボスコア、マイバムグレードが有意に高かった（全て $P<0.001$ ）。マイボスコアとシルマー値は MGD 群でのみ有意に相関した（ $R=0.508$, $P<0.001$ ）。

結論：油層が減少する MGD では涙液が増加していたが、non-SS ADDE ではマイボーム腺分泌は増加しなかった。油層減少に対して涙液が増加するという一方向の補償機能が働き、涙液のホメオスターシスを維持している可能性が示唆された。